

競技注意事項別記

靴底の厚さに関するルール改定

WA のルール改定に伴い、本連盟主催競技会についても以下に示す基準を満たしていないシューズを身に着ける競技者の出場を認めない。

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i)、(ii)、(iii)及び TR5.5 の図(a)並びに(b) TR5.13.3 に基づく)	補足
800m 未満のトラック種目 (ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。

TR5.13 注意

- (i) 規則 143 条(TR5)13(a)の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく（例：個々のパーツは互いに上に積み重ねない）、1 つの平面に連続して配置しなければならない。※ 現行のルールブックに掲載の内容と変更なし。

競技注意事項別記 加盟校の皆様へのお願い

本年度は大会要項（別記）でお示しした通り、新型コロナウイルス感染予防対策に則り、競技会を運営していくことを了承の上、大会にご参加ください。また、各大学が示している課外活動に関するガイドライン等を遵守し、参加について判断するようお願いいたします。なお、新型コロナウイルスの感染防止対策には万全を期しますが万が一、感染してしまったとしても、主催者は責任を負うことができませんのでご了承ください。

大会要項（別記）の「秩父宮賜杯第52回全日本大学駅伝対抗選手権大会九州地区選考会新型コロナウイルス感染症への留意点」に加え、以下の留意点につきまして遵守していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

1. 体調管理について

(1) 大会への参加について

各大学は、参加者全員（審判補助員、競技者、参加申請した指導者・コーチ）に大会前と大会後の健康チェックシートを記入させ、体調の把握をしてください。なお、体調不良者は競技会に参加させず、競技場にも来場させないでください。

(2) 競技会参加のための健康チェックシート【提出用】について

大会当日の学校受付時に、各大学は大会主催者が用意した「競技会参加のための健康チェックシート【提出用】」を、テクニカルインフォメーションセンターに提出してください。提出がない場合は、競技会への参加を認めません。

(3) 競技会参加のための健康チェックシート大会前【保管用】について

各大学は、2週間分の「競技会参加のための健康チェックシート大会前【保管用】」を作成、収集し、本連盟が提出を求めた場合には、遅滞なく提出できるようにしてください。なお、最後に記入した日から最低1カ月間は各大学で保管してください。

(4) 競技会参加のための健康チェックシート大会後【保管用】について

競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合、保健所、主催者へ報告するようお願いいたします。なお、2週間分の「競技会参加のための健康チェックシート大会後【保管用】」に各自記入し、最後に記入した日から最低1カ月保管してください。

2. 参加者が競技を行う際の留意点

(1) 基本的注意事項

- ①招集所では他の競技者とのソーシャルディスタンスを確保し、マスクを着用して招集を受けること。
- ②競技場内外を問わず、唾や痰を吐く行為は行わないこと。
- ③タオルの共用はせず各自で持参すること。
- ④待機場所では、周囲の人とソーシャルディスタンスを確保し大声で会話をしないこと。
- ⑤競技中などに競技者が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡すること。ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。

(2) トラック競技

- ①レース中はマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用すること。
なお、マスク着用による熱中症にも注意すること。
- ②レース終了後の手洗い、洗顔等を徹底すること。

(3) フィールド競技

- ①待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保すること。
- ②投てき器具については共用となるので、使用後は手指消毒を徹底すること。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意すること。なお、終了後には入念な手洗いや手指消毒を行うこと。
- ③助走練習、投てき練習時には、ソーシャルディスタンスを確保するために競技役員が1人ずつ順番に呼び出すので、その指示に従うこと。
- ④競技者同士の会話は原則として禁止する。試技以外の待機中は、必ずマスクを着用すること。なお、マスク着用による熱中症にも注意すること。

3. その他の留意点

(1) マスク等の準備

入場時に競技会参加者がマスクを準備しているか確認する。入場時にマスクを着用していない者は、競技場内への入場を許可しないので注意すること。参加者が、運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。

(2) 手洗いの実施

- ①手洗いは、30秒以上行うこと。石鹸は競技場にも準備する。
- ②手をふくためのタオル等を共用しないこと。
- ③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を使用しこまめに消毒すること。
競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参すること。
- ④手洗い場所は、メインスタンド下の競技場内通路にある洗面所とメインスタンド裏側のコンコースにある洗面所とする。手洗い場で密集することがないように注意すること。

(3) 洗面所（トイレ）の使用

- ①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。
- ②トイレの便器に蓋がある場合は、必ず蓋を閉めて汚物を流すようすること。
- ③手洗いは、石鹸等を使用し30秒以上行うようにすること。
- ④手をふくためのタオル等は各自で準備すること。

(4) その他

- ①宿泊施設や公共交通機関等の移動においても3密の回避など感染予防を徹底すること。
- ②競技場への立ち入りについては、別紙の「競技場立入制限」を参照すること。
- ③コーチがコーチングエリアから競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、話すようにすること。
- ④大会要項（別記）では、競技者の待機場所として、メインスタンド裏側のコンコースが使用できることの記載があるが、大会運営上、待機場所としての使用は認めない。

⑤競技会へ出場する選手のみでの参加とするため、応援、付き添いのためだけの者は来場させないこと。なお、集団での場所取りや声を出しての応援は固く禁止する。

競技注意事項別記

競技場立入制限

本競技会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、無観客で開催する。そのため、本競技会では、リスト ID を用いて入場制限を行うこととする。

1. 入場について

- ・入場の際の受付は下記の会場図に示している正面出入口 C で実施する。
- ・その日初めて競技場に立ち入る際は、受付で所属大学、役職等（審判、補助員、競技者、指導者・コーチなど）を係員に回答のうえ、検温をその場で行い、リスト ID を受け取ること。
- ・その日の受付以降は、リスト ID が確認できれば検温や所属先の確認は行わずに入場できる。
- ・リスト ID の色によって立ち入ることが出来ない場所があるため注意すること（立入可能箇所、入口については下に示す）。
- ・マスクを着用していない場合は、入場を許可しない。
- ・37.5°Cを超える場合は入場を断る場合がある。

2. 各種リスト ID の区分と立入可能場所について

- ・リスト ID 黄（陸協審判、学連役員）
競技場内全ての立ち入りを可能とする。
- ・リスト ID 青（指導者・コーチ）
メインスタンド、芝スタンド、バックスタンドへの立ち入りが可能である。ただし、コーチングはコーチングエリア内で行うこと。グラウンドへの立ち入りは禁止する。
※事前に加盟校で申請があった方のみ入場可能とする。学生がコーチングする場合も含めるので、参加校は注意すること。
- ・リスト ID 緑（学生審判・補助員）
メインスタンド、グラウンドへの立ち入りが可能である。芝スタンド、バックスタンドへは立ち入りを不可とする。
- ・リスト ID 赤（競技者）
芝スタンド、バックスタンド、グラウンドへの立ち入りが可能である。メインスタンドへは立ち入りを不可とする。

3. 各場所への入口について

メインスタンド、洗面所 …下図 B から入場可能

芝スタンド、バックスタンド …下図 A、E より入場可能

グラウンド …下図 D より入場可能

審判控室、TIC、洗面所 …下図 C より入場可能

(TIC へ御用の方はできる限り少人数で来ること。どのリスト ID でも入場可能とする。)

会場図

